

校長室から

心のつぶやき

だれもが遠くのとどこかない夢をもってしまふ
飛べないニワトリが飛ぶことを夢みるように
カラスがクジャクにあごがれるように
夢はいくら願ってもかなわないものだ

思ってた ずっと思ってた
ずっとそうなんだと信じていた
かなわないから 夢なんだって
そう 思った

なのに 私の心がつぶやいた
かなうから 夢なんだって
かなうかもしれないと思うから
みんな 夢見るんじゃないかって
そうかもしれない そうかもしれない
だから 私もこうやって
願っているのかもしれない

かなわないから夢じゃなくて
かなうかもしれないから 夢なんだ

子どもの作文「未来に向かって」より

(※本校読書活動推進員さんが掲示板に紹介したもの)

がんばり目標「～夢と笑顔と志をもって～」について思うこと

「夢」とは何でしょうか。「夢」は叶うものでしょうか。この問いに対して、それぞれご意見をおもちだと思います。

では、夢・目標・希望・・・様々な言葉を並べてみて、似たように使うという方もるでしょうし、いやいやきちんと使い分けているという方もあることでしょう。

私は、「夢」は叶うもの、叶えるものととらえています。女子サッカー、澤穂希選手は「夢は叶えるもの」としっかりととらえているようです。しかし、昔から夢うつつとか夢まぼろし、夢枕など浮かんでは消えていくはかないものというとらえ方もあるでしょう。

夢とは、将来にわたってもつ願望ではないかと思います。ですから、子ども達には、自分の将来は明るい未来が待っている、思い描いたことは実現するんだ、実現させるんだという強い決意にも似たものをもってほしいと願っています。(しかし、小学生の発達段階では、毎日ように「夢」の中身が変わっても当然ですし、成長の証だと考えています。)

その中で、一日一日を大切に、昨日より今日の自分、今日の自分より明日の自分の成長を自分自身が実感していくことが大切だと思います。子ども達は確実に成長しています。一番身近な家族がその成長を見守り、誉めたり励ましたりして、夢は叶うもの、叶えるものという思いを育んでいってほしいと思います。